



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく!」 ～地域と共に生きる長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

九州・沖縄ブロック 第8回 支部長・支部活動研修交流会 参加報告

日 時：5月23～24日

会 場：ホテルアトールエメラルド宮古島



佐世保支部 松尾 慶一

これまでの役員研修会で一番感激しました。

それは、地元、宮古支部の皆さんの熱い熱いお迎えの心意気でした。ようこそ離れ小島の宮古島までお越しくださいましたと18名の会員さんが迎えてくださりました。それに呼応して沖縄の各支部の皆さん総勢51名で私たち54名を歓迎していただきました。

基調講演は、愛知の加藤代表理事が同友会で学び実践して来た事を90分であっという間に話されました。会社の成長発展には経営者も社員も共に仕事を学び、それを次の世代に引き継がせていく事が重要だと話され、私も熱く強く共感しました。



6名のグループ討議では、長崎・熊本・宮崎・沖縄・宮古島から2名という組合せで、宮古島や沖縄の話に集中しました。私の無知が過剰に驚きを覚えさせたのかも知れませんが、沖縄県も宮古島も人口が増え続けているのです。県は140万人から10年後は150万人へと人口の増加をみているそうです。宮古島は現在55,000人で、その内6,000人が10年間で増えた外来者だそうです。その上、隠れ人口が5,000人程いるそうです。冒頭、中村ブロック長の挨拶の中に全国的な人口の減少が危機的な状況にあり、滅亡地域や消滅地域が出てくるという話を聞いた後で、この沖縄の人口増加はショックでした。しかし、逆に勇気が湧いてきました。沖縄を学んでいくことで、

目次

九州・沖縄ブロック第8回支部長・支部活動研修交流会 参加報告 …	1	新入会員・復会会員紹介 ……………	12
例会・総会報告 ……………	4	増強ウィークやります! ……………	13
委員会活動一覧……………	10	会員活躍……………	14
福岡同友会 北九州青年懇話会総会 参加報告 …	10	7月例会案内 ……………	15
(有)プライアント保険 経営計画発表会 参加報告 …	11	理事会議事録 抜粋 ……………	16
		会員消息……………	16

私たちの地域が消滅しないような策を練らなくてはならない。必ずや、そのすべはあるのだと思います具体的に行動に移して行こうと思いました。

更に、気づかせていただいたのは同友会の活動を小グループ化することで成果が上がるという点。実際、長崎県下の支部によっては既に実践されていると聞くことがあります。6人前後のグループで活動することを県下全域に検討していただきたいと感じました。



もう一つ、活動のしおりに発表しています企業訪問について、会員企業の誕生月にプレゼントを持って行く事で相乗効果が生まれ、互いに意識が変わったと聞きました。この気づきも是非、お手本にしたいと思いました。

このレポートを書きながら、宮古島の皆さんの顔が浮かんでいきます。お世話になりました。またお邪魔します。



佐世保支部 山領 進

九州沖縄の各県役員約100名ほどの参加で開催されました。開催セレモニーでは、沖縄同友会宮古支部の砂川支部長が「地域から必要とされ、愛される企業を目指そう」と話されました。また、主催者挨拶では、九州・沖縄ブロックの会長中村高明さんが、若い人が働ける職場づくりのために同友会型企業を増やそうと述べられ、増強の意義を強調されました。

基調講演は、愛知同友会代表理事エイバックス会長加藤明彦さんが「人を活かす経営で激変の時代を克ち進む企業づくり、同友会運動と企業経営は不離一体」の演題で行われました。自社の強み・弱みを徹底的に分析し、自らにうち克つという思いを込めて「克ち進む経営」を示されました。

労使見解に立脚した共も育ちの実践で「社員がやられるのではなく、やるべき事に気づき行動することが、会社の総合力となる」と述べられました。

また、社員の雇用について「現在の社員は必ずいなくなる」という衝撃的なタイトルで、新入社員雇用の意義を話されました。適切に新入社員を取ることで、会社が活性化し、先輩が後輩にスキルを伝えて行くことにより「あてにし、あてにされる関係」が会社の風土を作っていくと話されました。人件費という観点からも、リフレッシュが必要とされました。

2日目は、熊本同友会天草支部の横山英生さんが、一昨年度の新支部設立から今日までの歩みを報告されました。30名ほどで新支部をスタートされ、1年で

さらに30名の会員拡大という目覚ましい活動をされていきました。また、沖縄同友会宮古支部の、地域振興条例設立の取り組みが報告されました。

2日目の午後のフリースタイルには、日本一美しいと言われる宮古島前浜ビーチで海水浴。私の想像をはるかに超えた、限りなく透き通った美しい海に、感激！ひと足早い夏を満喫してまいりました。



投稿募集のご案内

- DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなど紹介下さい。
- 文字数/約500字
 - 画像/歓迎します
 - ☐掲載/情報広報委員会にて選考
 - ☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで
 - ☐メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



佐世保支部 村山 隆之

今年度支部長委員長でもない私が参加に至った原因は、佐世保支部の山領進新支部長と一緒に参加するためでした。強引に一緒に宮古島に行こうとお誘いしました。私には生まれて初めての沖縄本土を飛び越えた宮古島行きです。行ってみて沖縄同友会の情熱、宮古島の会員さんの「おもてなし」に感動しました。さて報告者は愛知中小企業家同友会代表理事でエイベックス(株)会長の加藤明彦さんでした。自社の事業領域をよく調べ実践しているから会社が良くなっていく。「現在の社員は必ずいなくなる」そこで新卒社員を採用することにより会社が活性化する。先輩社員が学んだことを後輩に教えることにより、社員間の信頼関係が構築され連帯意識がより会社を活性化させる。社員の行動を認め、労い、褒める。加藤さんが実践してきた話を聞きこのような社員教育がなされていない自分が再認識され考えさせられました。それともう一つ、同じテーブルの会員さんが中小企業振興条例について良く勉強しているのにはビックリいたしました。

今回の九州・沖縄ブロック第8回支部長・支部活動研修交流会の参加は自分にとって良い機会となりました。また懇親会、観光などの企画運営を一生懸命になさる宮古島会員のおもてなしには感動いたしました。他県他支部の会員さんと語らうことにより、自社の改善点、方向性が見えてきた研修会でした。ただ残念だったのは長崎同友会の参加者が田口事務局員を含め4人だったことです。

次回はもっとたくさんの役員さんに参加してもらいたいものです。実りある研修会でした。



同友会事務局 田口 友廣

5月23日・24日、「九州・沖縄ブロック 第8回 支部長・支部活動研修交流会」が沖縄県・宮古島で開催されました。今回で8回目となる研修交流会は九州・沖縄各県から総勢約100名の会員・事務局員が集まりました。

1日目の基調講演は愛知同友会代表理事の加藤さんでした。

自らの経営姿勢として「克ち進む経営」ということを、そして自社の強み・弱みを徹底的に分析し、時代の変化に対応した戦略を立て自社としての方向性を見出すことが大切だと話されました。さらに危機感をもつことの重要性について自社の事例を挙げ、これまでに取り扱い商品が時代の流れとともに何度も消滅したこと、永久的に安定する会社はないということを強調され、「危機感」を持つためには正しい外部情報をしっかり取ることが重要であると話されました。

最後にTTP（徹底的にパクル）し、自分の腹の中に吸収して、自分の言葉で語れるまで学び実践する。『理屈はいらない。実践のみ。そこから湧き出てくる』と学ぶだけでなく、実践することの大切さを語り、自分が実践して学ぶ姿を持たないと、社員も育たないと話されました。

2日目には、沖縄同友会顧問 糸数哲夫さんより「ヨーロッパ視察とエネルギーシフト」について、支部事例報告として「空白地域での支部づくり」をテーマに熊本同友会天草支部長 横山英生さんと「地域づくりと条例制定」をテーマに沖縄同友会北部支部長 金城毅さんより報告をいただきました。

（熊本同友会天草支部長 横山英生さんより天草のことをもっと知って欲しいということで天草のPRのDVDをいただきましたので、興味のあるかたは是非事務局までおたずね下さい。）

グループディスカッションでは「同友会での活動を、どのような会外や地域に広げていきますか。そしてどのような地域づくりをめざしますか。」というテーマで討論され、その中で「同友会は自主・自立の会であり、自立して活動しているからこそ周囲から評価をいただき、いろいろな団体と結びつきができていく」という意見があり、そして『同友会は企業づくりの会』であることをもっと外に発信すべきということが非常に印象に残っています。

要望を出すばかりではなく、行政・他団体とともに地域作り・条例作りなどに取り組み、関係を深めていくことが大切であるということを強く感じました。

今回は参加の機会をいただきありがとうございます。

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	5月27日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「川の流れのまま、59年間。」
報 告 者	(株)池田建築工業 代表取締役 池田 繁隆 会員



今期から地区会長になられた池田繁隆さんの報告で、浦上地区会の新年度は幕を開けました。(株)池田建築工業は昭和5年、島原半島の布津村(当時)で「池田組」として始まりました。

池田さんは1955年南島原市(旧布津村)生まれ。3歳の時に長崎市内にきました。長崎西高を卒業後、福岡大学に進学。そして父親の希望で池田建築工業に就職されました。仕事に明け暮れる毎日で、28歳で結婚、32歳の時に一度東京の会社に入社。34歳の時に父親が体調不良になったのをきっかけに長崎に戻り、池田建築工業に再就職しました。そして2004年、49歳の時に池田建築工業の5代目の社長に就任され、現在に至ります。

同友会には2000年に入会。そこから約8年間は同友会活動にあまり参加されていなかったそうです。2008年の経営フォーラムへの参加がきっかけで少しずつ同友会の活動に参加するようになりました。翌年には浦上支部(当時)の役員にもなり、参加回数も



増えてきました。同友会の会員の皆さんと会って話をしてパワーをもらい、例会も毎回とても勉強になっていたのですが、なかなか仕事や経営に反映することができずに悩む時期もありました。そして2014年、「同友会には、ハイカイエスしかない。」の精神で浦上地区会の地区会長になりました。さらに同友会での学びを実践するべく、経営計画書も作成しました。まだ、始まったばかりですが、池田地区会長が醸し出すカラーのもと、浦上地区会の幅が広がり、さらに充実して発展していくのだと感じました。

今回の例会では、高校時代の同級生の西山展司さんに座長を務めてもらいました。そして多くの女性の方に参加をしていただきました。女性の力が今後の長崎の経済発展の要になってくるので、これからもたくさんの女性経営者の方に参加をしていただきたいです。懇親会でもお酒と料理を楽しみながらたくさん話をして、会員の皆さんの交流ができたと思います。

(文責 橋本 裕次郎)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	5月22日(木) 午後6時30分
会 場	メルカつきまち 5F 大ホール
テ ー マ	「例会出席率を高める為にどうしたらいいか？」
報 告 者	第1～第6グループの各グループ長

例会出席率の向上は、両地区会並びに各支部共通の課題として、県の例会委員会では常に議題に挙がります。5月の出島地区会の例会では、新たに就任した山口憲男例会委員長を座長に、この例会出席率向上について考えようと、各グループ長に、自由な発想でプレゼンテーションしていただきました。

内容を要約すると、まず、第1グループ長の松田学さんは、入会当時背伸びしている自分自身がいたが、ある日「お前は伸びたな…」と先輩会員から言わ



れ経営者としての成長に気付いた。私は、思い出に残る例会、同じパターンではない例会にしてみたい。入会時は一人で寂しいので、新入会員にもっと声掛けする。出席率100%と0%の人に理由を聞き、その原因を知ることが改善への糸口となる。できれば出席率100%を目指したい。

次に、第2グループ長の浦川公巳子さんは、我が社

の社長は、職人なので、妹の私が経営陣に入っている。例会は、非常に有意義で、会費以上の価値があると思う。早速グループ懇親会を開催し、出席されていない会員に「どうされていますか？」とお声掛けし、例会出席率50%を達成させ、更に60%~70%を目指したい。

次に、第3グループ長の大崎悠史さんは、私が入会したとき、なじみの顔が何人もいてとても良かった。同友会の中に遊べる会を有志で作ったり、SNSのグループでネットワークを広げたりして、新入会員が馴染みやすい環境を整えてはどうか？また、欠席の会員には地区会の内容をPDF化して渡すサービスはどうだろうか？

第4グループの飯田義則さんからは、例会出席へのモチベーションを考えると、例会そのものに魅力がある。メンバーとの交流が楽しい。しがらみで出席していたが、次第に連帯が生まれ、仲良くなったなど色々だと思う。絆交流委員会や、各グループにもっと権限と予算を与え、自由な発想で例会などが実施されると、会員自身の参加意識が出て来て、全体が盛り上がり、出席率が向上するのではないかと。

第5グループ長の中村こずえさんは、入会理由はそ

れぞれ。全国大会などに参加すると勉強にもなるので、積極的に参加することが大事。女性会員が入れる会は、男性も増える。そこで、例会の時の、難しい地区会長の開会挨拶をやめ、会員持ち回りの楽しい挨拶を取り入れては？会員同士の旅行なども良いと思う。

第6グループ長の福井義憲さんは、増強のためのキャッチコピーを見直す。例会へのオブザーバーの誘いを3週間前までに早めにする。現在、会員の内43名が入会3年以内の方なので、気配りが必要。返信を3日以内にする、シミュレーションには参加協力するなど、担当例会でグループの協力は不可欠。

以上、各グループ長からのプレゼンの後は、更にグループ別に分かれ、前向きなアイデアや、辛口な反対意見も出しながら、例会について時間ぎりぎりまで討論しました。

テーブル発表の後、山口座長からは、まとめとして、今日の話を具体的なスケジュールに落とし込むこと。各グループは、メンバーに周知し、準備を進め、例会出席率50%超えを達成することを確認。続きは懇親会へと流れました。

(文責 橋本 桂子)

大村支部 例会報告

日 時	5月15日(木) 午後6時
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ マ	「継続可能な社会に貢献する企業を目指して」
報 告 者	(株)チョーブロ 代表取締役 荒木 健治 会員(長崎支部 浦上地区会)



大村支部5月例会は、YEGはじめ多くのオブザーバー、また他支部会員をお招きしての開催となりました。

いつもより多目の熱気があふれる会場にご登壇いただいたのは、長崎支部 浦上地区会の荒木さん。LPガス会社を母体に、調理器具のショップ、レストラン、住宅の販売など総合的な「暮らしのブランドkuriya」、家庭用太陽光発電、今話題の長崎空港隣接地をはじめとするメガソーラー等々、多岐にわたる事業を展開されておりますが、いたずらに事業を拡大してきたわけではありません。取捨選択しながら、基幹事業であるLPガスに関しては、ありとあらゆることをやってこられたとの事。「お客様に近いところの商売だけは手放さない」との言葉が印象的でした。また、



女性の能力を非常に高く評価して事業に活かしている方だとの印象を受けました。今回の報告の目玉であるメガソーラー事業については、実はあまり褒められたことではない事業だとお考えだそうです。制度上、消費者から薄く剥ぎ取るというかたちになるからだそうです。それでも都会に流れるはずの資金を、地元の業者がやることによって地元へ還流させることができる、ということであれば十二分に大義名分の立つことだと思いました。

報告の最後に、伊ソップ寓話「ウサギとカメ」になぞらえて、今回のまとめをされました。この話はもともとは、自信過剰は良くない、また、能力が低くとも地道に頑張るのが良い、という教訓の寓話だと思われていますが、荒木さんによると、目先のライバルだけを見ていたのがウサギだった、と言います。反面カメは

ひたすらゴールを目指した、商売も同じであり、目先の商売敵に勝つことにのみ執着していると疲弊してしまう。中長期の目標を見据え、見失うことの無いようにゴールを目指したい、との独自の解釈には、目からうろこが落ちる思いがしました。

報告の後には、場所を移しての懇親会にてYEGの皆さんとの交流を図ることもでき、いつにも増して充実した例会でした。

(文責 西 隆治)

諫早支部 例会報告

日 時	5月27日(火) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	「会員は辞書の1ページです。」第3弾 ～当社はこんな仕事をしています。～
報 告 者	(株) 未来 代表取締役 山崎 三郎 会員 (株) 張本創研 代表取締役 張本 洋二 会員



諫早支部5月例会は、同支部内のお二方に自社の事について報告していただきました。

まずは、創業から僅か3年という(株)未来 代表取締役の山崎三郎さんからでした。

高校卒業後、水道設備会社へ就職するも、将来は自分の会社を持ちたいという秘めた思いを持った9年後、社長へ退職の意思を告げますが、「まだ甘い!」の一喝で潰されてしまいます。その後も二度の挑戦、敗北を経て4回目40歳の春にようやく受理、翌月に起業を果たします。起業後は理念を打ち立て、自社の



強み、弱みを把握し、現在は今後の3ヶ年計画を練るなどして、会社の安定経営を目指されていました。

続きましては、前身の(有)張本石材の設立年に生まれ、会社と共に育ってこられた、(株)張本創研 代表取締役の張本洋二さんです。

昭和57年、扇精光(株)に入社。武者修行を経て五年後の昭和62年に(有)張本石材に入社。

俗に二代目社長は会社を潰すと言われますが、右肩上がりの高調時に、ある方の一言から生き残りの戦略を立て始めます。

同業他社との差別化をする為に、自社のオリジナル商品の開発や、お客様へのアンケート調査等、様々な角度からものを見て、必要に応じて即行動力で会社を牽引されている姿を感じました。

今回はお二方に報告をしていただきましたが、会員の皆様からは報告をもっと深く掘り下げて聞きたかったなどの話もあり、今後は報告のやり方を考えなければいけないと感じた例会でした。

(文責 前田 義幸)

広告募集

<4cm×9cm>

複数月 割 引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

V・ファーレン長崎



応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

島原支部 例会報告

日 時	5月15日(木) 午後7時
会 場	シーサイド島原
テ ー マ	「(株) ヤマダはもっと良くなる ～子供に誇れる 子供が入りたい、と想う会社に～」
報 告 者	(株) ヤマダ 代表取締役 山田 崇生 会員



今年度の島原支部の方針の一つとして、支部内で報告者を選んでいくというのがあり、山田さんはその第1号として報告されました。

大学卒業後、その頃普及し始めていた携帯電話の製造に関わる等、全くの異業種で働いていた山田さん。

実家に帰省していたある日、保険商品の書類を指一本でパソコン作成をしているお父様の後ろ姿を見ます。3兄弟の真ん中と言う立場もあり、葛藤もあったようですが、お父様・お母様が長年続けていた個人代理店事業にもパソコンは欠かせないものとなっていることを感じ、IT化が進む中ご両親を助けたい、という想いから事業継承を決意。

ファイナンシャルプランナー等、事業を行う上で必要な資格を短期間で取得し、その後法人化。取扱保険商品を大幅に増やされました。建設業者との連携など異業種との連携にも積極的に取り組んでおられます。同友会との出会いは、島原支部の横田健さんとの出会いがきっかけで入会されました。昨年行われた経営フォーラム等に参加されていく中で、「経営計画書の必要性」を強く感じられたそうです。

グループディスカッションは「情報の共有・見え



る化の工夫をされていますか？またどんなものですか？」をテーマに行われました。意見としましては、
・経営者から社員まで一日のスケジュールをホワイトボードに記載して、一目で分かるようにする。
・出張の際はできる限り早めに伝達する。
・伝票類は決められた場所に整理する。
・毎日朝礼を行っている。
・Facebook や LINE のグループ機能を用いて情報の共有や交換を行っている。
など活発な議論が行われました。

山田さんご自身の強みとしては、わかり難いと言われる保険商品については、「わかりやすく説明する自信がある」とおっしゃられていました。その他にも、お得な保険の話などもあり、個人的には勉強になった報告となりました。

私自身同族会社で働いていることもあり、共感できる部分を多く感じました。山田さんは同族経営の強み・弱みを分析され、そのメリット・デメリットをよく理解されていると感じました。今後のご活躍が楽しみです。

(文責 荒木 亮)

佐世保支部 例会報告

日 時	5月16日(木) 午後6時30分
会 場	佐世保市民会館 会議室
テ ー マ	「食に関わり 30 年、今思うこと」
報 告 者	(有) しまばら 代表取締役 島原 一郎 会員

私達、中小企業の経営者、後継者にとっての課題は、改善と改革が必要であり、今の体制のまま、経営が永遠に成り立つことはないとも承知でありながら、変わっていくことに戸惑ってしまうのが現状ではないで

しょうか。

そんな状況の中で、本日の島原さんの報告は全員が大きな感銘を受けると共に参考になったと思います。

祖父から父へ、そして自分へと三代続いた個人商店を今後の経済情勢と現在の経営内容を考えると大きな改革をしなければならないと痛感した報告者は、まず、スーパー流通業界の勉強会に入り、市場調査を経て、個人経営のスーパーマーケットに改革されました。

ところが、一大決心されたその経営も、苦勞の割には報われることが少なく、しかも、大企業のスーパーが地方都市まで次々と進出する過当競争に巻き込まれます。



そんな中で、新しい流れとして、コンビニ経営に目をつけられ、勉強を重ねて、データを集め三回目の変革を決心されます。しかし、この計画は家族の猛反対にあい、説得に説得を重ねながらも、いつまでも時を弄するわけにもいかず、反対のまま、自分一人全責任で

実施されることになりました。

まったく違う事業形態、365日24時間営業という勤務体制など、全てが前例のない未知の体験という苦労の中、地道に現場中心に社員と働き続け、やっと現在のブームに取っていかれる過程をお聞きしますと、勇気もらったような気持ちになりました。

そしてさらに、今に満足することなく少し落ち着いたところで、自分が今まで携わってきた食の在り方に

ついて考える事があり、農業経営の途も歩み始めると話されました。テーマを聞き、そのスケールの大きな発想にさらに共鳴致しました。

同友会に集う仲間として、一番大切な熱い心に触れることができた例会でした。

(文責 小松屋 隆久)



北松浦支部 例会報告

日 時	5月22日(木) 午後7時
会 場	トマトハウス
テ ー マ	酒の一斗「活動方針」
報 告 者	(有) 酒の一斗 代表取締役 池野 晋一 会員



北松浦支部の本年度のテーマは、会員の人柄、会社と商品の強みに関するプレゼンを実践することです。5月例会では「酒の一斗」の代表取締役池野支部長から①中小企業の経営環境、②北松浦支部の活動と役割、③自社の繁栄計画に関するご報告をしていただきました。

社内で頻繁に行われているという勉強会の内容も発表していただき、「強みの戦略」「1歩先・2歩先

を見据えたうえでの半歩先の行動」「自社の従業員が満足できてはじめてディスカウントできる」など経営者としての考えを知ることができ、非常に勉強になりました。

また、同日「ワインディナー例会」と称して、ワインに関する勉強会を開催し、池野支部長よりワインの飲み方から葡萄によるテイストの違い、フランスワインの知識等を教えていただきました。

トマトハウスさん自慢の料理を食しながらの勉強会でオブザーバーの参加も多く、松尾慶一代表理事もお見えになり、佐世保支部で恒例行事となっている「参加者全員による握手」等も教えていただき、会員相互の懇親を一層深めることができた例会となりました。

(文責 松浦 寛)



五島支部 総会報告

日 時	5月21日(水) 午後5時30分
会 場	観光ビル はたなか
テ ー マ	「今こそ、中小企業！」 ～地域を元気にする、中小企業を目指して～
講 師	町田歯科クリニック 院長 町田 澄利 会員(長崎支部 出島地区会)



今月は五島支部初の定時総会を開催いたしました。まだまだ拙い総会でしたが、なんとか滞り無く終了し、予定していた講演会へ引き継ぐことができました。

講演は県の政策委員長をされている、まちだ歯科クリニック 院長 町田澄利さんをお願いいたしました。

町田さんは弟さんの誘いで同友会へ入会したということや、同友会へ入会したことで異業種との交流がもて、医療業界では学べない多くのことがあったと仰っていました。そのような経験をされて、自身の企業(歯科医院)が元気であるためには地域の元気が必要、地域が元気であるためには健康が不可欠ということで、歯科医師からの視点で患者さん(お年寄り)の健康に関してアプローチされているそうです。寝たきりだったお年寄りが歯科治療を受け、食が進むようになり回復に向かったというお話等もあり、なるほど、歯科治



療にはそういう側面もあったのか!と聞いている我々も気付かされました。このように普通の歯科医師とは違った観点をお持ちの町田さんですが、今後も同友会で多くを学ぶために活動していかれるということでしたので、五島支部でもそういった姿勢を見習っていききたいと思います。

続いての懇親会には、講演会より参加していただいた、五島振興局長や副市長、他団体の会長等にも参加していただき、様々な意見交換を行うことができました。新たに同友会の仲間に加わった、五島トラック建設(有)の谷川喜一さんのバッジ贈呈式も行われ、ますます増強を行っていくという気運の中、仲間作り委員長の山本さんによる「やるぞ!」コールで会場も一段と盛り上がっていました。

今後も五島支部は増強を行い、支部として独り立ちできるよう頑張ってまいります。

(文責 勝本 政裕)

青年経営者会 総会報告

日 時	5月10日(土) 午後6時30分
会 場	サンプリエール
内 容	第31回定時総会



青年経営者会第31回定時総会が開催されました。来賓として松尾代表理事、池田浦上地区会長、中村出島地区会長、そして福岡同友会、熊本同友会、北九州青年懇話会からもたくさんの会員にご出席いただきました。



議事の第一号議案から第三号議案までの審議を仰ぎましたが滞り無く承認され、青年経営者会の2014年度が始まりました。

主たる役員は、青年経営者会会長:山口善也、副会長:山口憲男、吉川憂也、幹事長:橋本裕次郎、会計:飛田精一、監査:山崎功、顧問:西村繁彦(敬称略)です。昨年度とほぼ同じ役員組織ですが、山口善也会長のもと今期も精進し、邁進していく所存です。

山口会長が一つの大きなテーマとしているのが、長崎全支部、そして九州一円の同友会の若手経営者との交流を促進していこうということです。今回福岡、熊本の会員さんに参加していただきましたので、機会が

あればこちらからもお伺いしてみようと思います。北九州青年懇話会の皆さんとは諸先輩方の時代から交流が盛んに行われているので、今後とも交流を深めていき、仕事等の経済交流もできたらと思います。

青年経営者会にはまだ事業継承をしていない、もしくは事業継承中の会員がおります。今、中小企業の大きな問題として後継者（事業継承）の問題があります。青年経営者会が事業継承のその課題をクリア、もしくは

は方法の幾つかを見出して親会の会員の皆さんに反映することができたら、とても有意義なことであります。そのためにも今後もっと親会への出席を会員同士で促進していきたいと思います。

まだまだ若輩者の私達ですが、今後とも先輩方のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

（文責 橋本 裕次郎）

委員会活動一覧（5月1日～5月31日）

5月9日（金）

＜仲間づくり委員会＞ 参加者：11名

・内容

増強ウィークのスケジュールについての協議。
女性部会設立応援の意見交換。

5月12日（月）

＜県政策委員会＞ 参加者：8名

・内容

今年度の委員会活動内容を確認、日程の決定。
6月6日に中小企業憲章・振興基本条例について理解を深めることを目的に会員との意見交換会を佐世保で開催。
7月23日長崎商工会館にて行政・議会・他中小企業団体・同友会会員対象に開催する予定。

5月13日（火）

＜経営フォーラム実行委員会＞ 参加者：21名

・内容

実行委員メンバー増員の報告。各分科会の進行状況、講演者候補について、予算についての確認。

5月26日（月）

＜共有委員会＞ 参加者：8名

・内容

“中小企業における労使関係の見解”の読合せ。経営フォーラムの進捗報告。他県情報共有（福岡同友会共同求人参加報告）

5月26日（月）

＜情報広報委員会＞ 参加者：8名

・内容

HPリニューアルの進捗状況の確認。広報誌に関して、Web会議について導入・運用方法、e-doyu利用マニュアル作成、3大行事のレポートに関する協議。

5月29日（木）

＜ビジョン委員会＞ 参加者：6名

・内容

第4次ビジョンの検証方法の協議。

5月31日（土）

＜例会委員会＞ 参加者：15名

・内容

委員会活動方針の確認。各支部・地区会の活動方針について協議。例会企画についての課題・現状について協議。例会における今後のビジョンについての確認。全国大会について。

福岡同友会 北九州青年懇話会総会 参加報告

日時：5月31日 18時00分 会場：和風レストラン みかど

テーマ：『定時総会』～青年懇話会が北九州の主役となる～

青年経営者会と長年交流のある北九州青年懇話会の総会に長崎から4名で参加させていただきました。第一号議案の「2013年度経過報告から」第五号議案「2014年度予算案」まで無事承認され前期に続き御手洗会長が今期も会を引っ張っていかれます。前期は会員の増強にも力を入れられ12名もの新たな会員が入会され会員数も50名を超えとの事で、来賓の支部長に「沢山の方が支部にも入会していただきました、ありがとうございます。」とのお礼の言葉まであり、青年経営者会も頑張らなくてはと良い刺激をいただきました。

総会の印象としては、各議事の質疑応答の際、青年懇話会OBの先輩方から厳しい指摘が何度もあり、緊張感のある総会でした。その後の懇親会では、先ほどの厳しい先輩方からの激励の挨拶があり一気に和やかな懇親の場となりました。総会には福岡青年支部の方も参加されており、福岡県全域での青年経営者の交流もおこなわれているとの事でした。

長崎ではまだ、県全域での若手経営者との交流の場が無い状況ですので、今期は交流する場所作りを少しでも進めていきたいと思います。

北九州青年懇話会の方々とは毎年お互いの総会に参加し交流を深めており、長崎県以外の青年経営者との交流を図る良い伝統だと思いますので、今後とも末永く交流させていただきたいと思っております。



（文責 長崎支部 浦上地区会 山口 善也）

(有)プライアント保険 経営計画発表会 参加報告

6月3日（火）九十九島観光ホテルにて「佐世保支部 橋口 久会員（有）プライアント保険」の経営計画発表会が開催されました。長崎県中小企業家同友会佐世保支部経営指針づくり委員会として10名参加させていただき、来賓として支部長・副支部長・直前支部長が招かれました。参加会員より、今回の経営計画発表会に参加しての感想をいただきましたので一部掲載させていただきます。

（佐世保支部 永末 勝宏）

■山領進さん

やはり、人前での発表の機会を得ることにより社員さんのモチベーションが上がっていくのがわかります。昨年も参加したのですが今年も「組織の改革」がなされ「保険コンサルタント部」「OSR お客さまサービス部」というセクションの役割を各スタッフの方々がよく理解され、経営陣の思いがよく浸透している事がわかりました。人前で自分の仕事を発表する事により仕事に対する理解が深まり「決意」があらためて確固たるものになっている。

一段、一段具体性を持って確実にステップアップしておられる事は尊敬の念を禁じえません。またスタッフの皆さんが「プライアント保険」という会社に高いプライドを持っておられる事が伝わってきました。これは本当に素晴らしい事です。

■中島禎雄さん

発表会は社外に向けての発表だけでなく社員全員の目標・目的の確認の場であると感じられました。

■豊福和明さん

- ・経営者とスタッフの指針書の共有が出来ていることに感銘を受けました。
- ・PDCA が、部門別・個人別にしっかりできている。
- ・ビジョンがしっかりされているので、スタッフが安心して働け未来というベクトルが一致している。
- ・オンリーワン企業経営がファンをつかんでいる。
- ・指針書の共有運用が成立している事で経営者の責任が果たせている。

本日、この場に参加させていただき、誠にありがとうございました。

今年は、当方もがんばります。9/27（土）予定

■村山隆之さん

昨年と同様参加させていただき、一番感じた事は、社員のレベルアップです。話し方、態度等、肌で会社全体のレベルアップが感じられました。今回はパソコンの不調でプロジェクターが使えず社員一人一人の発表に来賓の皆さんが注視する中、社員の皆さんが堂々発表されました。（有）プライアント保険の経営計画発表会に参加させていただき、やっぱり経営計画発表会なくして会社の成長はないとつくづく思いました。橋口久さんご苦労様でした。



■東島誉志さん

職員さんが個人目標を掲げていらっしゃるの良かったと思いました。私自身の経営計画を作ることは可能だと考えていますが、計画を実行できるだけの人間力がないので、まずは人間力を高めるための計画をたてて、実行する事が私自身に必要なとも思いました。

■山崎秀平さん

今年の発表はワクワクする内容でした！これからのプライアント保険が楽しみです。

■永吉秀行さん

「安心をシンプルに安心を活力に」

本日初めて経営計画発表会に参加させていただきました。1年間の経営計画をしっかりと全社員で考え、決定していく企業にとって1番大切なことだと改めて考えさせられました。理念を明確にし、毎年毎年成長させていくために経営計画書を作成する。常に成長したいと思う人の集まり、同友会の中でプライアント保険の皆様と知り合えたことに感謝しております。

■木竹広賢さん

社長・専務・社員の皆さんのイメージが、言葉・行動・約束等の形になった経営計画発表会だったと思います。経営計画発表会は、経営者が自社について深く考え、そして、自分のイメージを形に落とし込む機会であり、かつ社員が経営者が持つイメージを共有し、理解し、自分の行動に落とし込む機会だということを感じました。1年1年の経営計画の策定・実行の繰り返しの成果としての「形」が見える発表会で、同じく中小企業を経営する気付きが多くありました。

■朝永憲法さん

- ・自社を愛し、仲間を信頼し、企業を活性化する社員の皆様の取り組みが伝わってきました。
- ・事業計画達成に向けて、全社目標、個人目標、チーム目標という具体的な目標と役割分担がされているのは、とても計画達成のシステムとして良いと思います。

新入会員の皆さんです＜6月入会・復会＞（敬称略）

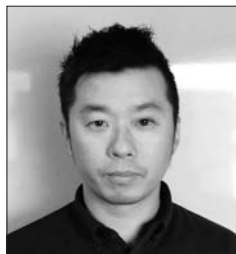
＜入 会＞

支 部 名	大村支部	
氏 名	たけなか せいや 竹中 清也	
企 業 名	(株)竹中建築設計事務所	
役 職 名	設計部長	
企 業 住 所	〒856-0835 大村市久原2丁目1496-3	
T E L	0957-52-3469	
F A X	0957-52-7107	
業 種	建築設計	
企 業 P R	住宅設計をはじめ、様々な施設の企画、設計をご提案させていただきます。お気軽にご相談下さい。	
スポンサー	高瀬 邦彦	

支 部 名	諫早支部	
氏 名	いはら きよたか 井原 清貴	
企 業 名	インクス(Ts工房 長崎千歳店)	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒852-8135 長崎市千歳町3-2中村ビル1F	
T E L	095-845-9289	
F A X	095-845-9289	
業 種	靴・バッグ等の修理、クリーニング業	
企 業 P R	靴・バッグ等のクリーニング、修理専門店。 ※県内集配サービスもOK!	
スポンサー	前田 義幸	

支 部 名	諫早支部	
氏 名	さとう よしのぶ 佐藤 快信	
企 業 名	学校法人 鎮西学院 長崎ウエスレヤン大学	
役 職 名	理事長	
企 業 住 所	〒854-0082 諫早市西栄田町1212-1	
T E L	0957-26-8200	
F A X	0957-26-8009	
業 種	教育・学習支援業	
企 業 P R	本学の母体は、1881年にアメリカのメソジスト教会から派遣された青年宣教師 C.S ロング博士が、長崎市の東山手に開校した加伯利英和学校（カプリ・セミナー）です。 後に鎮西学院と改称したこの学校は、長崎から諫早へ校舎を移し、1966年に鎮西学院短期大学を設立。 1980年に長崎ウエスレヤン短期大学と改称し、海外の姉妹校に留学生を派遣するなど、国際的な短期大学として多くの人材を世に送り出してきました。 そして2002年、学院創立120年を機に短期大学を改組し、長崎ウエスレヤン大学として新たな一歩を歩みはじめています。	
スポンサー	福田 博文、杉本 誠二郎	

支 部 名	諫早支部	
氏 名	おばた まさのぶ 小畑 正信	
企 業 名	協業組合ホームドライ長崎	
役 職 名	代表理事	
企 業 住 所	〒854-0065 諫早市津久葉町278-14	
T E L	0957-26-6722	
F A X	0957-26-6758	
業 種	クリーニング業	
企 業 P R	(設 立) 昭和29年6月 (事業内容) 家庭用一般クリーニング・産業クリーニング・ユニフォームレンタル (企業理念) 全社員「感謝」の心で日々の営業活動に邁進する。	
スポンサー	山田 康成	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	いわさき ひろたか 岩寄 大貴	
企 業 名	(株)岩寄紙器	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒859-3716 東彼杵郡波佐見町田ノ頭郷201-1	
T E L	0956-85-2127	
F A X	0956-85-3603	
業 種	紙器製造業	
企 業 P R	当社は、紙を中心とした様々なパッケージを製造しております。多種多様なニーズにお答えすべくデザイン、設計から製造まで一貫してお手伝いさせていただきます。	
スポンサー	松尾 慶一	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	くらしな そういちろう 倉科 聡一郎	
企 業 名	司法書士くらしな事務所	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒859-3701 東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷2146-4-101	
T E L	080-6636-2891	
F A X	0956-76-7757	
業 種	司法書士	
企 業 P R	気づかい、心配りを大切にサービスを提供しています。	
スポンサー	松尾 慶一	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	なかの さとみ 中野 さとみ	
企 業 名	なかの人事労務事務所	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒857-0017 佐世保市梅田町2-9アクテュエル梅田503	
T E L	0956-42-5270	
F A X	0956-42-5271	
業 種	社会保険労務士、行政書士業	
企 業 P R	企業の雇用・労務に関するサポートが主な仕事です。	
スポンサー	原田 良太	

< 復 会 >

支 部 名	五島支部			
氏 名	かきもり まこと 柿森 誠			
企 業 名	九州商船(株) 奈留島港代理店			
役 職 名	店主			
企 業 住 所	〒 853-2203 五島市奈留町泊 198-11			
T E L	0959-64-2321	F A X	0959-64-2888	
業 種	運輸業			
企 業 P R	五島列島の中央に位置する奈留島における人・物の流れを更に活性化するために努力しています。			
スポンサー	増山 勲次			

支 部 名	北松浦支部			
氏 名	やまのうち ひでき 山之内 英樹			
企 業 名	トマトハウス			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒 857-0322 北松浦郡佐々町松瀬免 93-1			
T E L	0956-62-5007	F A X	0956-62-2077	
業 種	飲食業			
企 業 P R	ログハウス造りの落ち着いた雰囲気のレストランで、イタリアンを中心にランチバイキング、カフェ、ディナーコースの営業形態となっております。スタッフ、お客様と共に成長し、地域に貢献出来るレストランになりたいと思います。			
スポンサー	池野 晋一			



7/10(木)~16(水)開催! 増強ウィークやります!

県下一斉! 支部・個人対抗

今回は個人対抗のスポンサー賞もあります。

We are
No.1



目標必達!

スタートダッシュ!

仲間を
増やそう!!

チャレンジ600 長崎同友会

問合せ
連絡先

☎ 095-822-0680 長崎県中小企業家同友会 仲間づくり委員会
長崎同友会事務局

三菱東京UFJ銀の中小企業支援事業 ユニオンソフト(長崎) 優秀賞

電子手形管理機能を評価

三菱東京UFJ銀行(東京)の中小企業支援事業「ビジネスサポート・プログラム」で、ビジネスソフトウェアを開発販売するユニオンソフト(長崎市、濱田利夫社長)が優秀賞を受賞した。

今回初めて実施された同プログラムは、全国の中小企業を対象に「資源・環境」「エネルギー」など成長分野の事業提案を募り、約100社が応募。先月最終選考会有り、6分野で最優秀賞6社と優秀賞8社が選ばれた。九州の企業は同社のみ。

ユニオン社は昨年3月に
同社は今年から本格的な販売網構築に取り組み、当面の販売目標は年間千本(約2億4千万円)。濱田社長は「受賞を機に同行グループ企業などの連携も深め、販路拡大を目指していく」と話した。
(熊本陽平)

会員活躍

長崎新聞
5月16日
長崎支部出島地区会
濱田 利夫 会員

長崎新聞
6月1日
長崎支部出島地区会
吉田 大祐 会員

長崎新聞
5月20日
長崎支部出島地区会
萩田 実 会員

寄って みんな!



サン・ミシェル浜町店 店長
萩田 ともみ
智美さん(45)
長崎市浜町II

装飾クッキー 広めたい

先月中旬にオープン。店内は白とピンクと水色を基調にしたかわいらしい雰囲気。いつもケーキ約25種類、焼き菓子約30種類を、そ



えています。
おすすめはクリームチーズとカスタードのシュークリーム「チーシュー」(180円)。新戸町本店の看板商品「牧島ロールケーキ」(1500円)は今月いっぱいまで販売しています。
マドレーヌなど焼き菓子も充実。特に、砂糖と卵白を混ぜたクリームで装飾する「アイシングクッキー」などシュガークラフト(砂糖工芸)に力を入れていきます。今後、店舗2階で砂糖工芸教室の開催も検討中。本店で人気の似顔絵ケーキも3日前の注文に対応。営業時間は午前11時〜午後8時。木曜定休。電話095・826・2500。

この町でモウリ☆ ただいま修業中

ごま豆腐職人

親月 =長崎市協和町=

吉田 大祐さん(32)



「ごま豆腐」の製造に情熱をこめて吉田大祐さん

「ごま豆腐 精進料理のひとつ1654年に黄葉家(おぼくしめ)の開祖臨元禅師が渡り興福寺

メモ

長崎市内に滞在したとき伝えられたとされる。親月のごま豆腐は田舎風金ごま 抹茶の3種類。

飽きのこない味追求

実家は元旅館。ごま豆腐はコース料理の一つだった。ある日、市

まるごとこーがる

お盆や彼岸のイメージが強いが、最近ではデザート感覚で買求める女性も多い。昔の味の方が良かったという人もいたが、今では「ほかほか食べられない」という声も増え、手応えを感じている。今は工場で小売りをしているが主体は即、せつく後を継いでいる。だから自分の代はつぎせない。「自分たちで先力を付けて、店舗を構えたい」と、新しい夢の実現へ歩み始めた。(左海力也)

7月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 7月22日(火) 午後6時30分
会 場 ギャラリーヘキサ
テ ー マ 「私達はお客さんをワクワクさせる人創り、店創りを目指して、感動を提供する会社」
報 告 者 (株) マツモト 代表取締役
松本 一孝 会員

大正7年創業。スーパー3店舗、花仲卸1店舗を経営。お客様をワクワクさせようと、全てのスタッフが考えて行動する会社が理想で、スタッフが自立型の人材になるように学び続けております。また人のやる気にスイッチを入れる、スイッチャーだとも自称しております。店舗視察が趣味でほとんどのスーパーを見に行きました。小売業の世界トップ20を見たくて、海外にも視察に行きます。学んだこととスタッフのモチベーションと自分の行動をミックスするのが得意です。

●長崎支部 出島地区会

日 時 7月24日(木) 午後6時30分
会 場 メルカつきまち5階ホール
テ ー マ 「いろは本店、閉店への苦渋の決断」
～負けない！今後の展望を宣言～(仮)
報 告 者 (有) いろは 代表取締役
林 昭彦 会員

長崎を代表する郷土料理店「いろは本店」を今年2月に閉店その苦渋の決断に至った経緯と想いを勇気をもって報告いたします。突き進む努力と止める勇気、そして様々な「気づき」今後の「いろは」の経営計画と共に勇気、元氣、ヤル気を伝えたいそして長崎を愛する林さんを今後も応援下さい！

●大村支部

日 時 7月16日(水) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ 経営指針に挑戦する！
～同友会の中で失敗と恥をかきまくる(仮)
報 告 者 (株) ヤマハマリン西九州 代表取締役
吉澤 健 会員(長崎支部 浦上地区会)

経営指針について01

大村支部の会員への経営指針への取り組みにおけるきっかけづくりと大村方式での委員会への参加を促します。

●諫早支部

日 時 7月22日(火) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ 「40年間の戦力として・・・」
～障がい者雇用を考える～
報 告 者 (有) エス・ケイ・フーズ 代表取締役
中村 こすえ 会員(長崎支部 出島地区会)

国の方では、障害のある人が障害のない人と同様、その能力と適性に合った雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指し、障害のある人の雇用対策を総合的に推進しています。

中村さんは、長崎市内で多くの店舗を展開され、従業員(アルバイトを含む)約530名の内、10数名の障がい者の方を雇用されています。障がい者雇用の経営体験報告をいただき、健康者と障がい者との垣根をなくし、自社の雇用形態の中で、障がい者の方と共に仕事が出来ないかを学びます。

●島原支部

日 時 7月18日(金) 午後7時
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ ー マ 経営体験報告
「若き匠の経営戦略」
報 告 者 アース建築デザイン長崎 一級建築士事務所 代表取締役
横田 健 会員

曾祖父から続く4代目として事業継承。

個人事業の大工から法人化をめざし一級建築士の資格を取得。

『私たちは、お客様に喜びを与え、成長し続けます。』を経営理念に掲げ『まったく新しい空間やサービスをご提案し、そしてお客様と共に感動できること』を企業テーマに、建築デザイナーと総合建設業の2足のわらじを送っています。同友会活動においても、経営指針書の作成に取り組みながらも実務を疎かにせず、積極的に企業連携も推進しているなど、自分に厳しい若き匠の『優しい社員共育法』と企業連携した事で見えた経営戦略などをお話しいたします。

●佐世保支部

日 時 7月18日(金) 午後6時30分
会 場 佐世保市民会館
テ ー マ 未定
報 告 者 つるの整骨院 院長
霧野 靖久 会員

●北松浦支部

日 時 7月24日(木) 午後7時
会 場 平戸海上ホテル
テ ー マ 町づくりと中小企業の役割
報 告 者 平戸市長
黒田 成彦 氏

●五島支部

日 時 7月15日(火) 午後6時30分
会 場 福祉保健センター
テ ー マ 同友会会員としての心得を学ぶ
報 告 者 尾崎陶器(株) 代表取締役
尾崎 彰宣 会員(県例会委員長・佐世保支部)

昨年10月に発足した五島支部ですが、現在は県本部、県内支部のご協力のもと例会運営をはじめ、支部の活動を行っています。来期より五島支部の例会運営は独り立ちし、充実した例会行いたいと考えます。今回の例会を機に、同友会理念、例会とは、会員拡大とはを基礎から学び、五島支部会員のさらなる成長の場となる例会にできればと思います。

●青年経営者会

日 時 7月15日(火) 午後7時
会 場 同友会事務局
テ ー マ 「私の履歴書」
報 告 者 (株) 山晃ユニティー 代表取締役
山崎 晃 会員

自社の事業活動の内容や業界の現状・未来についてご報告頂きます。

また、父親の代から事業を引き継ぎつつ、新たに現在の会社を立ち上げた際の経緯や苦労等もご報告いただける予定です。

2014 年 6 月理事会 議事録 抜粋

2014 年 6 月 5 日 (木) 19:00 つくば倶楽部
出席 (敬称略) 21 名 欠席 (敬称略) 3 名 ※握手タイム

仲間づくりについて

杉本仲間づくり委員長総括
新年度となり退会者が増えてきていましたが、皆さんの奮起もあり今月はたくさんの方に入会の申し込みをいただきました。仲間づくりに対する燃えるような気持ちをひしひしと感じており、仲間づくり委員会としても応援をしていきます

協議・承認事項

- 1) 第 4 3 回定時総会収支の再承認 (登録数の修正あり) について
※参加 200 名目標に対する各支部の結果の修正報告
※前回の報告より、浦上地区会 1 名、出島地区会 2 名、北松浦支部 1 名が当日参加のため増加。
登録数 106 名を 110 名に修正
→収支・登録数の修正を承認
- 2) 中小企業家同友会プレート作成について (三役会案)
シール …タテ40×ヨコ150/30,000円 (600枚)
タテ50×ヨコ180/36,000円 (600枚)
プレート…タテ40×ヨコ150/120,000円 (600個) ※印刷
タテ50×ヨコ180/150,000円 (600個) ※彫刻
上記ともデザインに関してはもともとあるフォントを使用するためデザイン料はかからない。貼り方について、シールはラミネート加工されたものである程度どのような壁にも貼付可能。プレートに関しては若干壁の素材を選ぶため、上部に穴あけ加工を施す。以上の結果からシール案を三役会案として上程 (プレートに関しては小ロットでの見積りを依頼中)
→シール(タテ50×ヨコ180)を作成し、会員に1枚ずつ無料で配布することを承認
デザインは発注先のプロの意見を聞きながら詰める、デザインの確認は理事会で行なわないものとする。また2枚目以降は実費にて販売を行なう。プレートに関しても作成し、希望者のみに販売をする。
希望枚数に関しては事務局からアンケートを配信する。
- 3) 中小企業家同友会ポスター作成について (三役会案: 松尾代表理事より)
同友会の存在や会員の帰属意識を高める、または社会的信用性を高めるために同友会ポスターを作成し、各金融機関に掲示していただく (親和銀行頭取との話については)。デザイン、作成に関しては3社でコンペを開催し決定する
→ポスターを作成する方向で承認。デザインと印刷を分けてコンペを行なう。
デザインの金額に関しては、目安を山領佐世保支部長に提出いただく。また、印刷枚数は長崎県内の金融機関の数を調べた後に検討する。サイズは通常金融機関に貼ってあるものの大きさを調べ、同様のものとする
- 4) 理事会議事録について (三役会案)
事務局から田口・峰2名の参加とする。作成した議事録はまず理事会メーリングで渡し1週間～10日ほど各理事から過不足の指摘をいただく期間とする。その後完成した議事録をe-doyu掲示板に掲載する。各支部役員会においては決議事項と必要な報告事項のみ抜粋した資料で理事会報告をしていただく
→三役会案を承認
- 5) 政策委員会からの提案について
→政策委員会からの提案を承認。まず会外に対する案内の内訳を決定し、その後どれくらいの会員に案内を出すのかを検討する
- 6) 五島支部例会における報告者交通費について
→今年度の例会は最大10回ということから、10回×16,000円 (交通費) の160,000円を県予算からの捻出を承認。
※予算組に関してはパラモン委員会含めて、アドバイスが足りていなかったとの意見・反省もあった

中同協関係その他報告・連絡事項

- 1) 諫早支部設立20周年記念行事での講和を岩崎会員(長崎支部出島地区会)に決定。
参加予定人数は80名、理事や各支部・地区会の会員にも出席いただくようお願いをする。各支部・地区会から出席いただきたい人数に関しては、実行委員会にて検討し再度報告します
- 2) 情報広報委員会より
→記事募集について各支部・地区会・委員会など行われたイベントなど、進んで投稿してください。事務局に記事と写真を投稿後、情報広報委員会で記事の編集を行います。
→Web会議について(当委員会で先行実施 五島: 勝本政裕会員 佐世保: 府川正樹会員)
今後は希望者を募り、情報広報委員で設定などを行なう。実際にWeb会議を行ってみて会議参加者の声
・話に入りづらい、聞き手にまわってしまう。
・誰が話しているかわかりづらい。
・司会は、誰が話すのか段取りをした方がいい。
※今後の理事会で試験を兼ねた運用を行なう。各委員会WEB会議を使用する際には、事前に事務局に連絡をすること
→総会、賀詞交歓会の広報誌レポートは副代表理事から提出いただくことを承認
- 3) 仲間づくり委員会より増強DAYの名前を変更し増強WEEKとする。
増強WEEKは7月16日当日だけ訪問し獲得ではなく、7月10日～7月16日間を意味する。過去3回開催の経験、当日だけでは、新会員候補へ会えないことが多かった。
決めたリスト先に、一週間の期間集中して確実に全会員仲間と訪問し会う。
一週間期間中は毎日、状況を報告し、事務局より全会員へ伝え、毎日を活性化

し競争を促す。
最終日7月16日(水)は結果締め日とし、各地区・各支部で独自で朝から集まり、合計を見て他に負けずとその日も奮起し、数字を上げる。そして次に繋げる。
※7月16日(水)に各支部で臨時役員会を開催していただき、入会申込者の承認をしていただく
案であるが、このやる気増強WEEKに大きく報いるために、理事会で表彰する第4回から、今回から毎回頑張った支部、がんばった個人会員へ「最優秀支部賞」と「最優秀スポンサー賞」をもうけ贈りたい。
(案) 期間「最優秀支部賞」甲子園方式で目に見える品、祝旗・トロフィーなのか、毎回持ち回り方式で贈る、短冊をつけた渡し方、今後何年も続く事にしたい。
例えば、一番望ましいのは、持ち回りとして松尾代表理事の「輝かしい陶器」そして毎回記念に残る進呈する小陶器?と表彰状授与できれば最高のご褒美となる。
→具体的な品、予算については今回の三役会に提出する
(案) 期間「最優秀スポンサー賞」第1位～3位まで表彰
これこそが、やる気の源となる。切磋琢磨な勢いを引き出す間違いのない原動力となる。
今後、期間賞だけでなく年間賞も考えて行きたい。

- 4) 例会について (更なる例会の充実をめざして) - 尾崎例会委員長
→昨年度は会員数が増えたにも関わらず、後半においては出席率も下がり、出席人数も20名近く減少しています。出席率・出席人数の向上のためにまずは魅力ある例会作りを。また返信率アップへの取り組みをお願いします
- 5) 九州・沖縄ブロック 支部長・支部活動研修交流会参加報告
→松尾代表、山領支部長、事務局田口から参加報告。詳細は広報誌にて確認
- 6) 中同協第4回幹事会等参加報告 - 松尾代表、事務局峰
→松尾代表、事務局峰から参加報告。外形標準課税に関して中同協は会長談話を発表。長崎ではまずは知ってもらうことから始める。中同協の談話を長崎の全会員に告知し、会員より意見をいただき事務局にて集約する。その他詳細は広報誌に掲載
- 7) 県版「会員名簿・活動の手引き」完成配布報告ならびに名簿の写真について
今回作成して、顔写真が非常に少なく思います。次回作成する際、基本的に顔写真は掲載するものとし、名簿の充実を図りたい。(どうしてもNGの会員の是非掲載)
→松尾代表より、次回作成の際には顔写真掲載をぜひお願いします
- 8) 第21回経営フォーラムについての進捗報告
→6月11日開催の経営フォーラム実行委員会にて、記念講演者及び各分科会の報告者を承認予定。7月の理事会にて上程する。その際に予算に関しても上程の予定
- 9) 中同協専門委員について
※今回新規の応募
政策委員 - 西尾会員 (長崎・出島地区会)、企業連携推進連絡会 - 岩崎会員 (長崎・出島地区会)
(地球環境、女性部、共同求人に関しては応募なし)
→上記の事項を決定
- 10) 全国大会について
→2019年中小企業問題全国研究集会を長崎で開催することが、中同協幹事会にて承認
- 11) 福岡同友会合同企業説明会参加報告 (事務局峰)
→資料にて報告
- 12) 会費滞納者について
→事務局から報告
- 13) その他
→宮田正一会員 (大村支部) が7月3日 (木) 鹿児島県霧島市で、中小企業振興基本条例について報告を行なう。
→長崎同友会会員が他県で報告する際に所属支部の支部長に連絡がないことがあるため、支部長への連絡を徹底する。他県の会員に報告を依頼する場合・他県から報告を依頼される場合は、事務局を通してやり取りすることを徹底、九州・沖縄ブロック事務局長会議でも確認・徹底をお願いする
→諫早支部にウエスレヤン大学学長の佐藤快信氏より入会をいただく。6月27日に訪問予定で、今後は諫早支部と包括協定を結ぶ予定。ゆくゆくは県との包括協定を結ぶような方向性を考えている。協定書に関しては、三役会に提出し、理事会で確認をとる

決議事項

- ・8名の入会、1名の復会、4名の退会を承認
- ・第43回定時総会収支の再承認
- ・中小企業家同友会シール作成し、会員に1枚無料配布することを承認
- ・中小企業家同友会ポスター作成することを承認。詳細は次回理事会
- ・理事会議事録について三役会案を承認
- ・政策委員会からの提案、7月23日(水)中小企業振興条例勉強会を開催することを承認
- ・五島支部例会における報告者交通費について160,000円を県予算からの捻出を承認
- ・事務局携帯電話を新規で1台購入することを承認
- ・事務局パソコンの新規購入と現在使用しているパソコン3台のOSのアップグレードを承認
- ・総会、賀詞交歓会の広報誌レポートは副代表理事から提出いただくことを承認
- ※理事会初参加 五島支部野口総務委員長から一言ご挨拶

次回日程 - 7月3日 (木) 19時～ つくば倶楽部

会員消息

会 員 数 (6月1日現在)

	長 崎 (浦上)	(出島)	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	227	127	100	67	80	50	120	40	624
期首	201	115	86	57	54	40	99	33	509
現在	198	114	84	57	53	39	98	33	503

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会員名	支部・地区会名	入会年月
(有) 蟹御殿	荒 川 信 康	長 崎 ・ 出 島	2010年11月
藤田製菓	藤 田 正 和	大 村	2011年 4月
三恵綜合企画 (株)	木 塚 正 英	諫 早	2008年 6月
(株) ケン・ネット	徳永 英太朗	佐 世 保	2011年 3月